



令和元年7月1日

防疫対策を徹底しましょう

これまでの国内発生での拡大疫学調査チームによる調査結果から、最近の事例においても次の事項について飼養衛生管理基準の遵守が不十分であったことが確認されたことから、十分注意してください。

- ① 長靴の履き替えや洗浄
- ② 手袋・作業着の交換
- ③ 防鳥ネットの未設置、豚舎外壁への間隙や損傷等の野生生物の侵入防止対策

飼養衛生管理基準の遵守を再徹底してください。

- 適切な衛生管理区域の設定
- 衛生管理区域専用の衣服と靴の設置、使用
- 畜舎等及び器具の定期的な清掃又は消毒
- 他の畜産関係施設等に立入った者の衛生管理区域への立入制限
- 野生動物等からの病原体の侵入防止
- 食品廃棄物等を原材料とする飼料を給与する場合の加熱処理
- 毎日の健康観察、異状の早期発見・早期通報

家畜に異状がみられた場合、ただちに獣医師、または家保に連絡してください

むつ家畜保健衛生所

TEL : 0175-22-1254

FAX : 0175-22-1259

(夜間及び休日 : 090-5841-6810)

飼養衛生管理基準（ウイルス侵入防止対策のポイント）

1. 野生動物侵入防止対策

畜舎周囲・農場外縁部の石灰散布



- 畜舎周囲・農場外縁部は2m以上の幅で地面が白く覆われるよう定期的に石灰を散布する
- 併せて、殺鼠剤及び殺虫剤の散布によるネズミ、昆虫等の駆除を行う

堆肥舎等における防鳥ネットの設置



- 堆肥舎は、食べ残しの飼料等がカラスやタヌキなどの野生動物を誘引し、ウイルスが持ち込まれる可能性があるため、防鳥ネットやブルーシートをかぶせる

畜舎における防鳥ネットの設置



- 畜舎の屋根や壁の破損は随時補修する
- 畜舎開口部（出入口を含む）にネットを設置する
- 定期的に点検し、ネット等の破損箇所は速やかに補修する

エサこぼし防止のための清掃消毒



- 野生動物を誘引しウイルスが持ち込まれる可能性があるため、こぼれ餌をこまめに回収する
- タンクの下に消石灰をまいたり柵を設置することも効果がある

- 農場周囲に、電柵やワイヤーメッシュなどの柵を設置する
- 場内の消毒及び畜舎周辺の除草や木の伐採により、野生動物が接近しにくい環境にする

2. 人・車両等の出入り対策

入場車両の消毒徹底、専用服、靴の着用



- 出入り車両は動力噴霧器等で消毒する（併せて出入者の記録）
- 有機物を除去し、適切な消毒薬・希釈倍数で消毒する
- 農場出入口は、交差汚染防止のため、車両の長さの約2倍ほどの長さの消石灰帯を作る
- 立入者は衛生管理区域用の衣服及び靴を着用する（飼料運搬車等の乗務員が区域内で降車する場合は、区域内専用の足置きマットを準備し、区域内専用靴が車内で汚染するのを防止する）

畜舎専用の衣服及び靴への着替え、手指消毒



- 畜舎専用の衣服及び靴への着替え及び履き替え、手指の洗浄・消毒を実施する（特に、立ち入る頻度が高い分娩舎等は手洗いをこまめにする）
- 着替え・履き替え前後で動線が交差しないよう、明確な境界帯を設け、交換前後の衣服や靴を分けて保管、一方通行とする。

3. 豚舎内へのウイルス侵入防止対策

～ ネズミやカラスなどの野生動物の侵入により、衛生管理区域内も汚染している可能性 ～

- 豚の豚舎間の移動の際は、ケージ・リフトを使用する（使用前後は消毒する）。困難な場合は、移動ルートに消石灰を十分に散布する
- 飼料を畜舎外から畜舎内へ一輪車等で運ぶ際は、畜舎入口で一輪車等の車輪を消毒する
- 豚舎専用の長靴使用及び豚舎立入前のこまめな手洗いが必要

全農による消毒等の方法紹介動画

(<http://jacnet.zenoh.or.jp/boueki/index.html>)

消毒槽の準備方法

靴底消毒等に活用可能な消毒液の調整方法を紹介します。希釈倍率が重要。



消石灰の散布方法

衛生管理区域等における消石灰の散布方法を紹介します。ムラのない散布が重要。



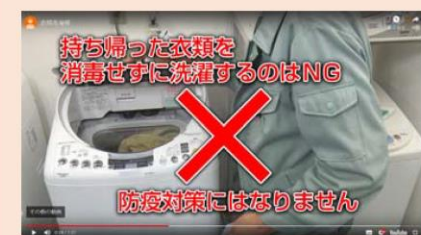
手指の消毒方法

手指のアルコール消毒の方法を紹介します。手のひら等の消毒が重要。



衣類の洗濯方法

衣類を選択するときの消毒方法を紹介します。衣類の消毒液への浸け置きが重要。



車両の消毒方法

車両の消毒方法を紹介します。地面と接するタイヤ等の足回りの念入りな消毒が重要。

